

## 採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：医学系】

大 学 名	名古屋大学	整理番号	F - 1
拠点のプログラム名称	神経疾患・腫瘍の統合分子医学の拠点形成		
中核となる専攻等名	医学系研究科細胞情報医学専攻		
事業推進担当者	(リダー) 祖父江 元 外16名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>神経変性疾患と悪性腫瘍は治療が困難で死亡率が高く、その克服は21世紀の重要課題である。本拠点では神経変性疾患と悪性腫瘍の分子病態の解明と、それに基づく治療法の開発を目指す。神経再生・変性と腫瘍増殖・転移には多くの共通分子が関与することが明らかになりつつあり、我々は既に両者に共通に関わる多くの新規分子の同定に成功してきた(COE形成プログラム(平成10年～14年))。本拠点では、この流れをふまえて神経疾患、悪性腫瘍、臨床開発の3つの研究グループを形成し、統合的に研究を推進することにより分子標的治療を実現する。この成果は医療やバイオサイエンスに重要なインパクトを与えるのみならず、新たな研究ディシプリン創成の可能性を持つ。本拠点では若手研究者が十分に研究に専念できる環境を作り、世界をリードする「勇気ある」「力量ある」「独創性ある」人材の育成を図る。さらに学内の附置研究所、研究センターの再編・統合を行い、世界をリードする研究教育拠点の形成を目指す。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>神経細胞の変性、再生や腫瘍細胞の増殖の仕組みには、多くの共通蛋白質分子が関与しており、いずれも細胞内情報伝達の異常ないし失調として把握されるが、本グループでは、従来から多くの新規共通分子を固定し、その実績は高く評価される。本プログラムは、これらの実績をさらに伸ばし、若手研究者と共に医療への応用を視野に入れており、その成果が期待できる。</p>			